

おりべとうろう
織部灯籠

- ◇ 指定日 昭和32年12月25日
- ◇ 所在地 光岸地(大杉神社境内)
- ◇ 所有者 個人

織部灯籠は、安土桃山時代に活躍した
ふるたおりべ
 武将の古田織部が考案した形の灯籠のこと
 です。

本来の形は上図のとおり、くうりん・笠・
ひぶくろ・ちゅうだい・竿の五部分でできています。

大杉神社にあるものは、一番下の竿の
 部分だけになります。

上部が四角形に張出し、下部は裾が張
 る四角柱になっており、正面に観音さま
 と思われる像が掘り込まれています。

古田織部は、茶道の大家であった千利休のこうてい高弟でもあったことから、織部灯籠は茶席の庭など
 に建てられることが多かったようです。



高さ 61cm 幅 26cm 厚さ 18cm

